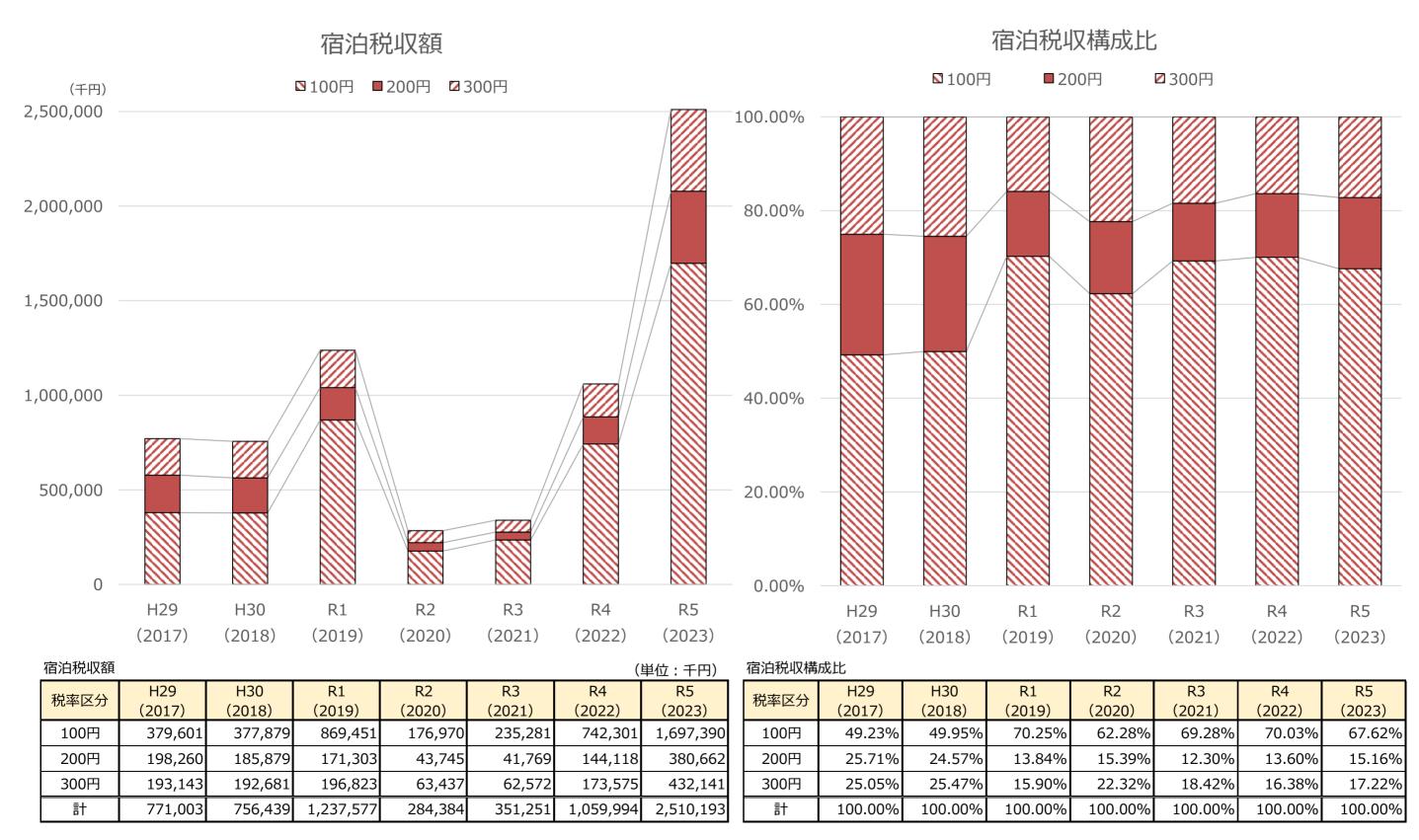
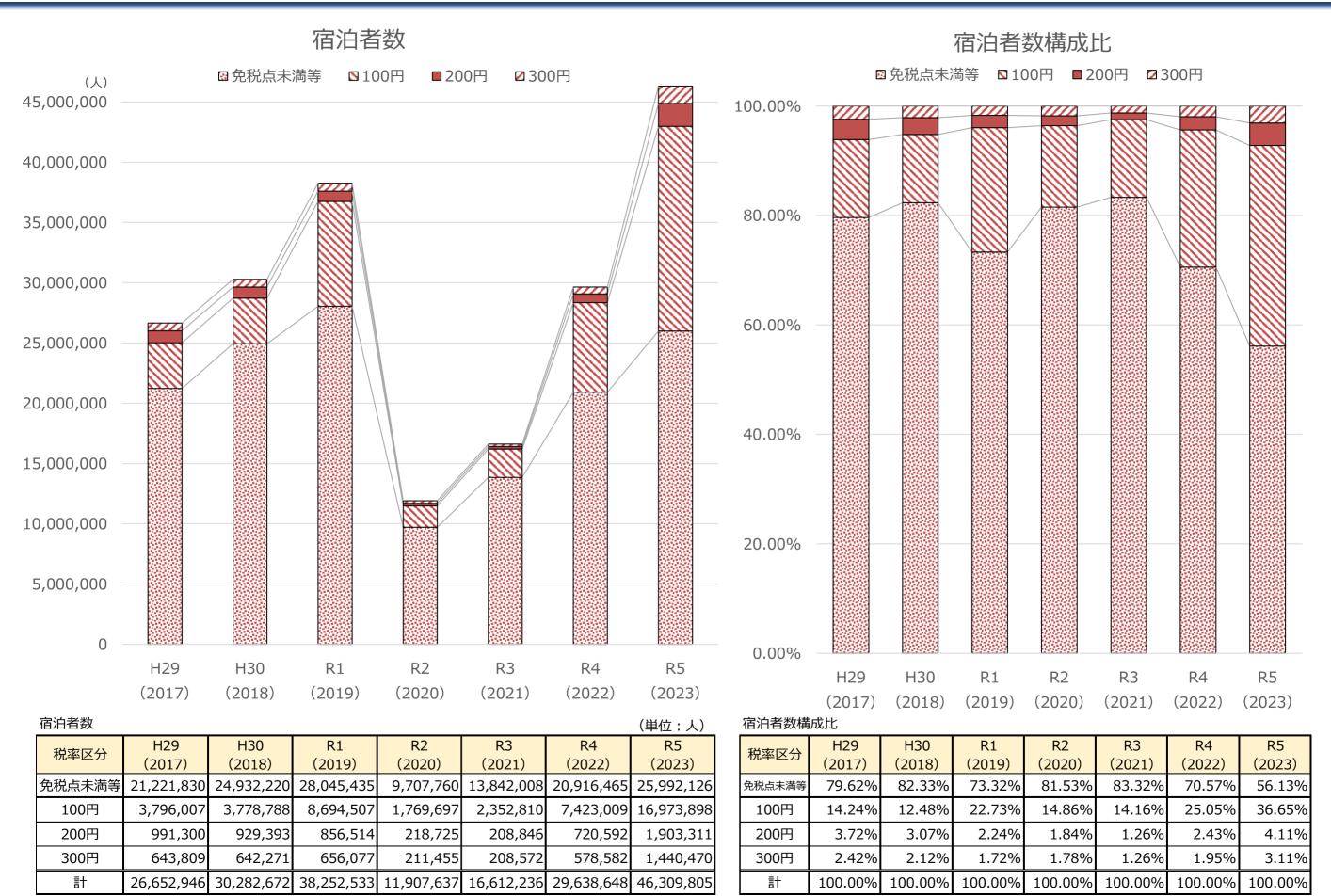
宿泊税収の分析

宿泊税収の分析

- ▶ 2023年度の宿泊税収額は、水際措置の終了や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う観光客の増加により、大幅に増加
- ▶ 宿泊者数の構成比を見ると、免税点未満等の割合が年々減少し、100円の税率の占める割合が増加傾向



宿泊税収の分析



参考:宿泊税制度を導入している他団体の制度(2024年5月時点)

	東京都	京都市	金沢市	倶知安町	福岡県	長崎市
実施時期	2002年10月	2018年10月	2019年4月	2019年11月	2020年4月	2023年4月
対象施設	ホテル、旅館	ホテル、旅館、簡宿、 民泊	ホテル、旅館、簡宿、 民泊	ホテル、旅館、簡宿、 民泊	ホテル、旅館、簡宿、 民泊	ホテル、旅館、簡宿、 民泊
税率	宿泊料金 税率 1~1.5万 円 1.5万円~ 200円	宿泊料金 税率 ~2万円 200円 2~5万円 500円 5万円~ 1,000円	宿泊料金 税率 ~2万円 200円 2万円~ 500円	・宿泊料金の2% (定率)	宿泊料金 税率	宿泊料金 税率 ~1万円 100円 1~2万円 200円 2万円~ 500円
免税点	1万円未満	なし	なし	なし	なし	なし
課税免除	なし	修学旅行生等	なし	修学旅行生等、 職場体験者	なし	修学旅行生等、 宿泊を伴う スポーツ大会・ 文化大会
税収額 ※R5は最終 予算額	R元:27.1億円 R2: 0.9億円 R3: 2.5億円 R4:15.8億円 R5:41.6億円	R元:42.0億円 R2:12.9億円 R3:16.3億円 R4:30.5億円 R5:47.5億円	R元:7.7億円 R2:4.2億円 R3:4.9億円 R4:7.8億円 R5:7.1億円	R元:1.8億円 R2:0.5億円 R3:0.7億円 R4:2.4億円 R5:5.0億円	(福岡県の税収額) R 2: 6.2億円 R 3: 8.9億円 R 4:13.1億円 R 5:13.9億円	R 5:3.7億円
特徴的な 使途	・宿泊施設等の バリアフリー化 ・MICE誘致活動	・市バス混雑対策 ・文化振興、 景観保全 ・無電柱化	・無電柱化・迷惑行為の防止活動・高齢者の買い物支援	・域内交通網の整備・環境保全・新幹線を意識したまちづくり	・旅行商品造成支援・市町村に対する財政支援	·旅行商品造成支援 ·Free-Wi-Fi整備

参考:宿泊実態に関する調査について

- ▶ 宿泊税を活用した観光振興施策の実施にあたり、その財源となる宿泊の実態を調査・把握するための調査を実施中。
- ▶ 調査結果については、6月中旬に中間とりまとめ、7月中旬に最終とりまとめを行う予定。

項目	内容		
✓ 業務名称	宿泊実態に関する調査業務		
✓ 契約期間	令和6年4月11日~令和6年7月16日		
✓ 調査対象施設	大阪府内の宿泊施設 約8,500施設 ① 旅館業法上の営業許可施設(ホテル、旅館、簡易宿所) ② 国家戦略特区外国人滞在施設経営事業の特定認定施設(特区民泊施設) ③ 住宅宿泊事業法における住宅宿泊事業の実施に係る届出施設(新法民泊施設)		
✓ 調査項目	令和3年4月~令和6年3月までの以下の項目 ① 延べ宿泊者数 ② ①のうち、外国人延べ宿泊者数 ③ ①のうち、価格帯毎の延べ宿泊者数(年間及び月間毎) ④ 平均宿泊単価(年間及び月間毎) ⑤ 修学旅行生の受入数 ⑥ ⑤のうち、価格帯毎の延べ宿泊者数(年間及び月間毎) ⑦ 修学旅行生の平均宿泊単価(年間及び月間毎) ② 修学旅行生の平均宿泊単価(年間及び月間毎)		
✓ 今後のスケジュール	令和6年6月10日 宿泊施設の回答期限 令和6年6月12日 調査結果(中間報告) 令和6年7月10日 調査結果(最終報告)		